

東京パワーテクノロジーと白山工業が資本業務提携
～世界の地震防災への貢献をめざして～

平成 29 年 11 月 30 日

東京パワーテクノロジー株式会社
白山工業株式会社

東京パワーテクノロジー株式会社（東京電力ホールディングス株式会社の 100%子会社。代表取締役社長：原英雄、以下「T P T」）と白山工業株式会社（代表取締役社長：吉田稔、以下「白山工業」）は、平成 29 年 11 月 15 日に資本業務提携契約（以下「当契約」）を締結し、本日、当契約に基づき白山工業は新株式を第三者割当により発行し、T P Tが議決権比率 33.4%相当を取得いたしました。

T P Tは 30 年以上にわたり、主に原子力発電所等の重要施設における地震時の地盤や建物の地震観測を行っており、観測機器の設置・保守、観測データの解析までワンストップでサービスを提供しています。

白山工業は会社発足以来 31 年間、振動計測機器の開発・製作の専門メーカーとして、国や大学が運用する地震・火山観測ネットワークの構築、建物の地震被災度判定を遠隔で行うサービスの提供など地震防災に係わる幅広いソリューションを展開しています。また最近では、検出部に電源を使用しない『位相シフト光パルス干渉法による超高精度光センサー』の開発（特許取得済、参考資料の通り）を世界に先駆けて成功し、従来の機器では達成できなかった極限環境下での地震観測や資源探査分野への適用に向けて、現在実証試験を進めています。

両社は、本資本業務提携を通じて、それぞれが保有する設備・技術・経験を融合させ、地震防災に係わる新たな商品・サービスを開発してまいります。これにより、両社は東京電力グループの一員として、原子力分野のみならず今後拡大が予想される我が国そして世界の地震防災ニーズに対して積極的に貢献してまいります。

<参考>

東京パワーテクノロジー株式会社の概要

白山工業株式会社の概要

位相シフト光パルス干渉法による超高精度光センサーについて

【東京パワーテクノロジー株式会社の会社概要】

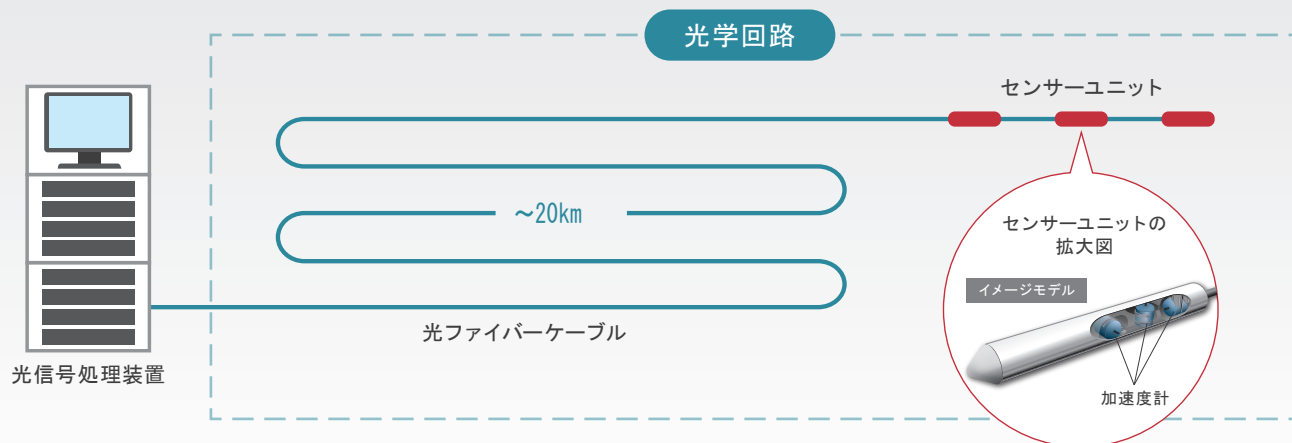
商 号：東京パワーテクノロジー株式会社
設 立：1955年11月（旧東電環境エンジニアリング株式会社）
資 本 金：100,000,000円
代 表 者：代表取締役社長 原 英雄
所 在 地：東京都江東区豊洲五丁目5番13号
事業内容：・発電関連事業（工事・運転・保守）
・環境・エネルギー関連事業
・尾瀬地域事業
・その他サービス（保険・資機材調達）
URL : <http://www.tokyo-pt.co.jp/>

【白山工業株式会社の会社概要】

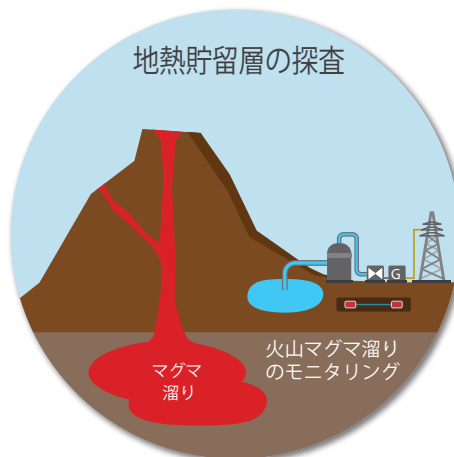
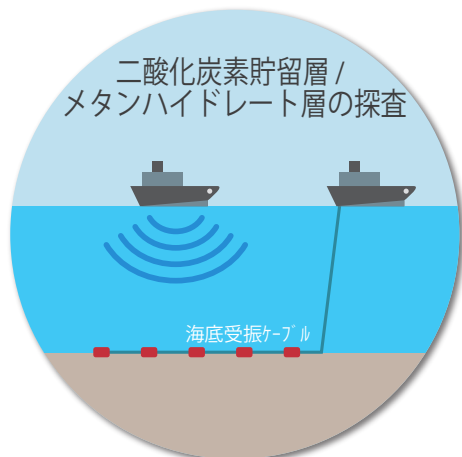
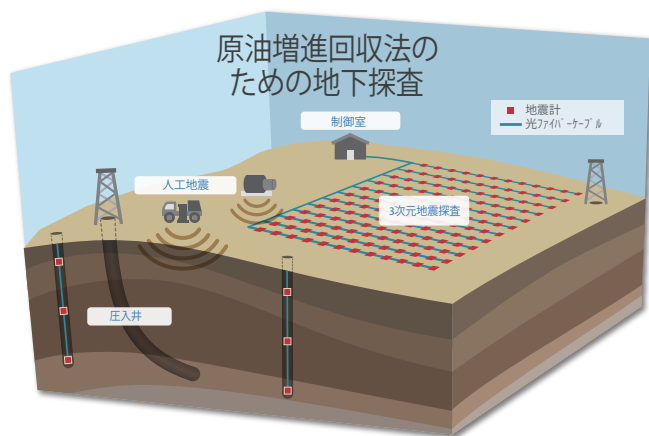
商 号：白山工業株式会社
設 立：1986年6月
資 本 金：80,000,000円
代 表 者：代表取締役社長 吉田 稔
所 在 地：東京都府中市日鋼町1-1 Jタワー10F
事業内容：・高精度計測とIP技術を利用した計測、ネットワーク、解析システムの
開発・販売
・被災度判定システム VissQ シリーズ等防災システムの開発・販売
・精密スリッターシステムの製造販売
URL : <http://hakusan.co.jp/>

位相シフト光パルス干渉法による 超高精度光センサーについて

屋外環境で動作するマイケルソン干渉技術により、電子部品を用いずに
広帯域の地震計測を可能にしました。電源が供給できない場所、電子部品が
動作しない環境、防爆が必要な環境での高精度計測を実現します。



〈 光センサー実用概念図 〉



【光パルス干渉法による超高精度センサー関連の特許】
特許番号5118004：光ファイバセンサ
特許番号5118246（米国特許番号9273948）：光ファイバセンサ
特許番号5702623：光ファイバセンサ（参照光を90度位相をずらしたもの）
特許番号6002329：光干渉式センサ及びそれを用いた計測システム